



文 武 両 輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 9月29日

【文責】校長 蔦川 誠

演じることは？

9月22日(金)、3学年で講演会を開催しました。青森県立美術館舞台芸術企画課課長の櫻庭憲生さんをお招きして「演劇や創作活動に生かせることは何か」というテーマの講演会でした。櫻庭さんからは、県立美術館の紹介を交えながら映像を活用した講演をしていただきました。映像では県立美術館の案内の動画や、県内出身の著名なフラメンコダンサーの踊りを見ることができました。また、講演の中では県立美術館展示の目玉であるシャガールの描いた「アレコ」の4枚の絵の意味の説明がありました。3年生は映像を見るだけではなく、来月の文化祭で「ライオンキング」を上演することになっているので、講演にも熱心に耳を傾けていました。



櫻庭さんからは「ライオンキング」の上演を控えている3年生へ、演じる際に最も大事なものは「誰のために演じるかを考える」ことであり、役者がやり切った、力を出し切ったと満足できるならば必ず観客の心に届くものになる、と貴重なアドバイスをいただきました。

3年生にとっては、参考となるアドバイスをいくつもいただくことができました。

代表生徒の感想を紹介します。

3年1組 前田 奏英

私は、演劇は「誰のために演じるのか」を考えることが大切というお話が印象に残りました。私たちのライオンキングは、自分たちのためではなく、先生方や保護者、観客のために演じようと思いました。私は助監督という役割ですが、私自身もどうすればよりよいライオンキングをつくれるのかを考えたいです。一人でステージを創り上げることはできません。裏方であっても与えられた役割に全力を尽くしたいです。一から創り上げるライオンキングは不安も大きいのですが、全員で最後までやり切って達成感のあるステージにしたいです。

3年2組 工藤 結有

私は県立美術館にまだ行ったことがなかったので、お話を聞いて、実際に行って様々な絵を見たくなりました。「アレコ」という絵がとても大きいことに驚きました。そのエピソードを聞いて、悲しい話だということが分かりました。私はダンスを考えて役者に教える役割ですが、ステージを盛り上げさらに迫力のあるものにするため、責任をもって役割を全うします。今日はライオンキングを演じるポイントをいくつも学んだので、それを意識して学年全員で最高のステージを創り上げていきます。

3年3組 池田 釉

説明を聞いて、県立美術館のマークの意味を知ることができて興味深かったです。僕は役者を担当するので、今日のアドバイスをしっかりと生かしていきたいです。今までは、誰のために演じるかとか、観客にどのように受け取られるかなどということは、ほとんど意識していませんでしたが、これからは役者としてどのように演じるのか、観客に何をどのように伝えるのかなどをよく考えて演じたいです。ライオンキングでは、それらを意識して演じていきます。

(一部抜粋・修正は筆者)